

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスの理解	3	3		高齢者に関する福祉の精度や、様々なサービスについて勉強します。
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		各種サービス提供現場における仕事内容を勉強します。
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	3	3		利用者にとって権利とは何かを具体的に学び、人権や尊厳を守ることの大切さについて理解します。
② 自立に向けた介護	3	3		「その人らしさ」を尊重するために、介護職としての注意点を理解し、利用者の自立に向けた介護の目的と大切さ、介護の予防について勉強します。
③ 人権啓発に係る基礎知識	3	3		一人ひとりの違い(名前、性格、好きなもの)を理解し、他人の気持ちを考えることや人権について勉強します。
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができるようにする。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	2		地域包括ケアの大切さや介護職の役割と専門性、多職種の理解と連携の方法について勉強します。
② 介護職の職業倫理	1	1		介護職としての社会的責任を理解し、職業倫理や基本的な心構え、支援の方法について勉強します。また、プライバシーについても学びます。
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	2		サービスの利用者の安全を確保するための備え、環境整備などのリスクマネジメントの考え方や方法、感染予防・対策について勉強します。
④ 介護職の安全	1	1		介護職に起こりやすいところとからだの病気や障がいについて学び、自身の健康管理の必要性と方法について勉強します。
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	介護保険制度や障がい者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	2	2		高齢者の自立を支えるための仕組みやサービスがどのように作られているのか、また実際のサービスの内容や利用の流れについて勉強します。
② 医療との連携とリハビリテーション	3	3		介護における医療と福祉の連携について、また介護職員ができる医療的ケアについて勉強します。
③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	4	4		障害者福祉制度の概念と社会的な仕組み（サービス内容、利用の流れなど）について勉強します。
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		利用者とのコミュニケーションの必要性を学び、その基本技術や、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションについて勉強します。
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		介護記録の必要性と目的について、またチームコミュニケーションに欠かせない報告・連絡・相談の必要性と目的について理解し具体的な方法を勉強します。
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	3		老化による高齢者のところとからだの変化と日常生活への影響について勉強し、高齢者の介護をする時の心構えや注意点を理解します。
② 高齢者と健康	3	3		高齢者に多い病気や老化に伴う病気について勉強し、高齢者の介護をする時の心構えや注意点を理解します。
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1	1		認知症高齢者の行動や心の変化を理解し、介護される高齢者の気持ちになって関ることの大切さを勉強します。
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	2		老化のしくみと脳の変化や認知症の原因を理解し、予防のための対策や健康管理について勉強します。
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	2		認知症の周辺に起こる症状や、認知症高齢者とのコミュニケーションのとり方、基本的な接し方について勉強します。
④ 家族への支援	1	1		認知症高齢者を支える家族への支援について勉強します。
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	2	2		障がいの概念、障がい者(児)を支える制度や仕組み、法律について勉強し、障がい者(児)への介護の基本的な理解を深めます。
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	1		障がいの原因となる主な病気や症状について勉強し、障がい者(児)への介護で大切にすべき点を理解します。
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	2	2		障がい者(児)を支える家族への支援について勉強します。
(合計時間数)	5	5		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようにする。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術を理解できるようにする。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	2	2		介護に関する専門的知識や技術の必要性について、制度や法律を参考にしながら勉強します。
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3	3		人間の記憶や感情について学び、意欲や生きがいとは何かを勉強します。また、介護職員の姿勢についても勉強します。
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5		体の中のいろいろな器官とその役割について、基本的な知識を勉強します。
④ 生活と家事	8	8		利用者への家事援助とは何か、また家事援助をする時の注意点について勉強・体験します。
⑤ 快適な居住環境整備と介護	4	4		利用者が快適な生活を送るための居住環境や福祉用具について勉強・体験します。
⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		利用者が身なりを整えることの必要性や、身体状況に合わせた衣服の選択・着脱、整容のための支援技術について勉強・体験します。
⑦ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	12		移動・移乗に関する介護技術や、福祉用具とその活用方法について勉強・体験します。
⑧ 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		食事に関する介護技術や、利用者の自立に向けた介助とはどのようなものかを勉強・体験します。 また、食事の意義と目的、栄養に関する知識、口腔ケアについても学びます。
⑨ 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		入浴、清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴介護の技術について勉強・体験します。
⑩ 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		排泄の必要性と、利用者の尊厳を重視した介助のあり方について勉強・体験します。

⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3		睡眠の必要性と、心地よい睡眠を確保するための環境や福祉用具の活用法と、その支援の方法について勉強・体験します。
⑫ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	3	3		終末期から死までの体の変化、死を迎える高齢者と家族の心理を理解し、その支援の方法を勉強します。また、死にゆく人の尊厳を守り、その人らしい死を迎えるための介護のあり方について勉強します。
⑬ 介護過程の基礎的理解	6	6		利用者の状態や思いに沿った援助計画を立てるためのアセスメント、その計画の実施、評価、再アセスメントの過程について勉強します。
⑭ 総合生活支援技術演習	6	6		生活場面や障がい状況の異なる事例について、今まで勉強してきた内容を踏まえ、具体的な介護内容および注意点を考えます。
(合計時間数)	76	76		

使用する機器・備品等	車いす・ベッド・マットレス・パッド・スライディングボード・布団・毛布・掛け布団・枕・クッション・シーツ・防水シーツ・タオル・ポータブルトイレ・簡易浴槽・ウォッシュクロス・シャンプー・リンス・石鹸・歯ブラシ・各種杖
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識を持てるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2		研修を通して学んだことを再確認し、今後継続して学ぶべきこと確認します。
② 就業への備えと研修修了後における実例	2	2		介護の仕事におけるステップアップの方法について勉強します。
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(特1) 障がい者の理解と介護事例検討 【初任者研修課目外】			
指導目標	障がいごとの特性を理解し、障がいに応じた介護について事例検討を通して理解できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
視覚障がい者の理解と介護事例検討	2	2		視覚障がい者について理解し、事例検討を通してより良い介護を実施する方法について勉強します。
知的障がい者の理解と介護事例検討	2	2		知的障がい者について理解し、事例検討を通してより良い介護を実施する方法について勉強します。
精神障がい者の理解と介護事例検討	2	2		精神障がい者について理解し、事例検討を通してより良い介護を実施する方法について勉強します。
難病患者の理解と介護事例検討	2	2		難病患者について理解し、事例検討を通してより良い介護を実施する方法について勉強します。
聴覚障がい者の理解と介護事例検討	2	2		聴覚障がい者について理解し、事例検討を通してより良い介護を実施する方法について勉強します。
全身障がい者の理解と介護事例検討	2	2		全身障がい者について理解し、事例検討を通してより良い介護を実施する方法について勉強します。
内部障がい者の理解と介護事例検討	2	2		内部障がい者について理解し、事例検討を通してより良い介護を実施する方法について勉強します。
(合計時間数)	14	14		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(特 2) 共感的理解と基本的態度の形成 【初任者研修課目外】			
指導目標	ロールプレイ等の方法によりサービス提供現場の演習を通して、サービス利用者に対する共感的理解と基本的態度を習得できるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
共感的理解と基本的態度 の形成	3	3		ロールプレイにより、利用者の立場を体験することで、利用者への共感的理解と介護職員としての基本的態度の理解を深めます。
(合計時間数)	3	3		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 84

商号又は名称：社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会

科目番号・科目名	(特 3) レクリエーション体験			【初任者研修課目外】
指導目標	レクリエーションを体験することで、その効果を実感し、介護に活かすことができるようにする。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
レクリエーション体験	2	2		レクリエーションが生活の活性化とどのような関係があり、 能力の回復や獲得につながるかを、体験を通して学びます。
(合計時間数)	2	2		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。